

第3章 基本理念と全体目標

基本理念

がんに強い地域社会の構築を目指して

全体目標

がんにならない 地域社会の構築	患者本位の がん医療の充実	がんになっても 安心して暮らせる 地域社会の構築
--------------------	------------------	--------------------------------

分野別施策

がんにならない 地域社会の構築	患者本位の がん医療の充実	がんになっても 安心して暮らせる 地域社会の構築
これらを支える基盤の整備		

1 基本理念

がんにならない地域社会構築のため、患者本位のがん医療の充実のため、また、がんにかかっても安心して暮らすことができる地域社会構築のため、がん患者や家族が必要な支援を受けることができる環境の整備が必要です。

そして、これらを支える基盤の整備に向けては、行政や医療機関とともに、地域社会の取組が重要です。

がん対策の最大の目的は、がんによる死亡者の減少であり、そのために、がんの予防や早期発見・早期治療、がん医療の充実等が必要です。

また、がんによる死亡者を減らすことだけでなく、がんにかかってもがんと共生していくことが求められます。

群馬県は、目的達成に向け、関係者と連携し、がん患者を含む県民や事業主ががん対策に主体的かつ積極的に取り組めるようその活動を支援し、実効性のあるがん対策を総合的かつ計画的に推進し、がんに強い地域社会の構築を目指します。

がんに強い地域社会の構築を目指して

2 全体目標

平成30年度からの第3期「推進計画」では、上記基本理念に基づき、国の第3期「基本計画」の全体目標の趣旨を踏まえ、次の3つを全体目標として取組を進め、がんによる死亡者の減少の目安となる75歳未満年齢調整死亡率の減少に向け、がんの罹患者の減少、がんの早期発見の促進、適切ながん医療を受けられる体制の充実及びがん患者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

(1) がんにならない地域社会の構築

がんにならない地域社会の構築のため、科学的根拠に基づくがん予防及びがん検診の普及啓発を図るとともに、県民一人ひとりが自らの健康への思いを深め、そして、互いに協力し合い、自発的ながん予防・がん検診に関する取組が行われるような社会環境の整備を図ります。

(2) 患者本位のがん医療の充実

患者本位のがん医療の充実のため、引き続き、県民がどこでも質の高いがん医療が受けられる体制の維持・強化を図るとともに、患者・家族と医療従事者の間で更に十分な意思疎通が行われるなど、がん患者が適切に意思決定ができるよう支援を図ります。

(3) がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築

がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築のため、適切な医療のみならず、福祉的支援、教育的支援その他必要な支援を受けることができるよう、地域社会の活性化を促し社会環境の整備を図ります。